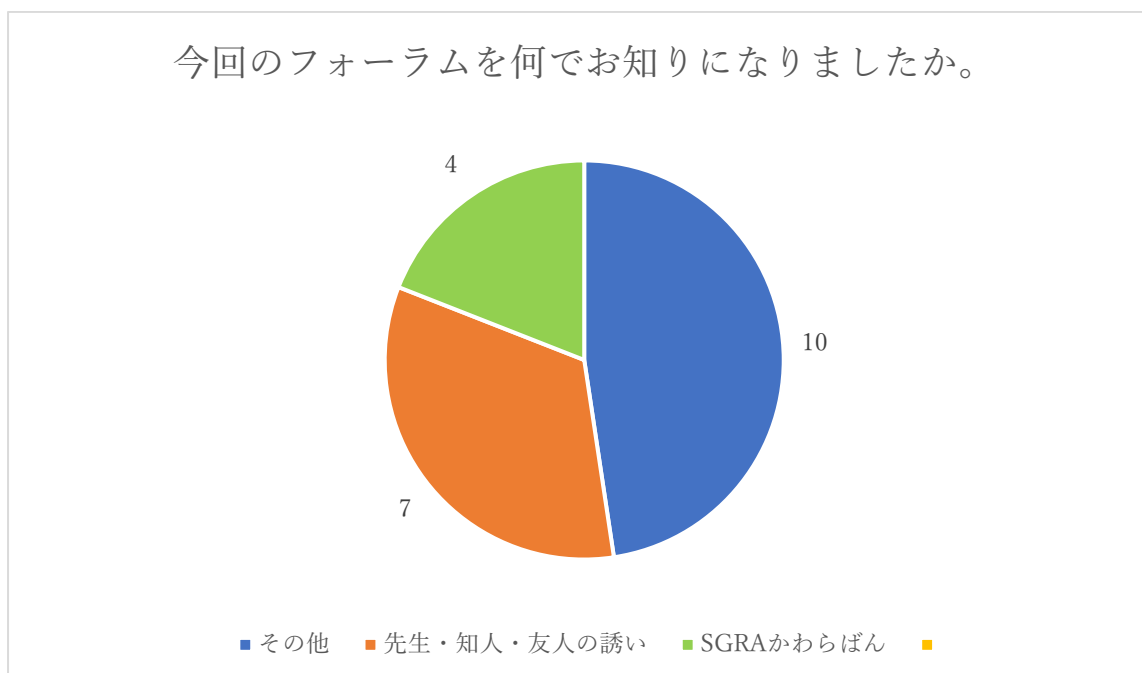
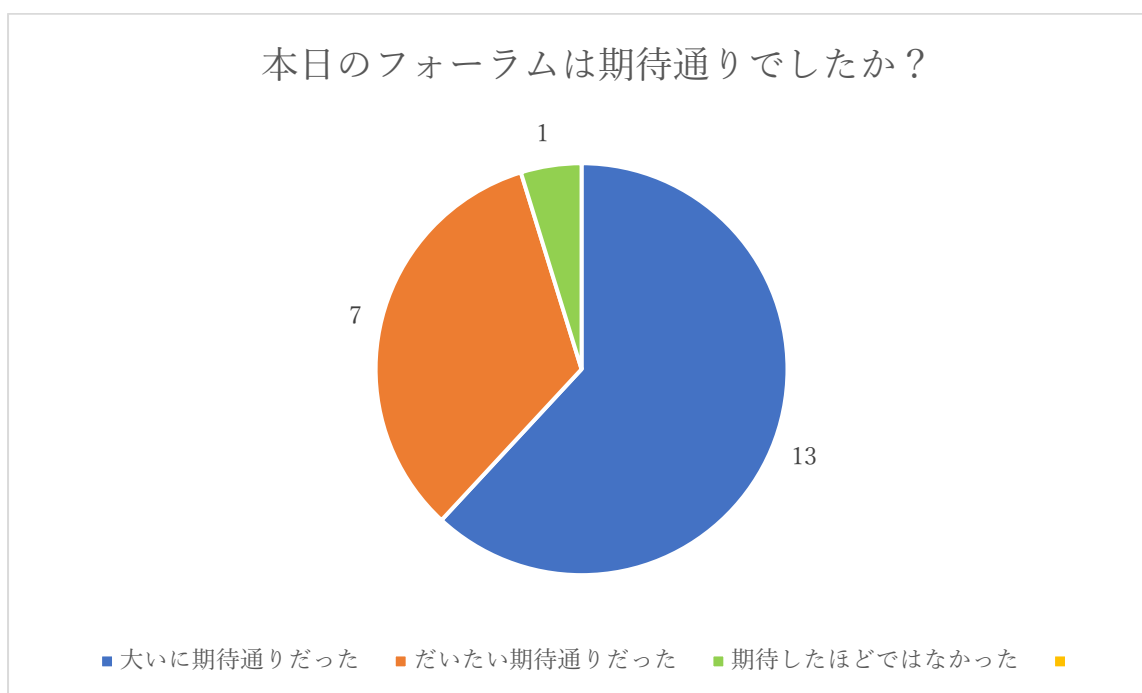


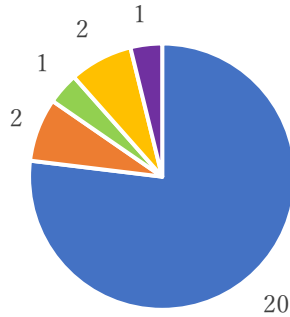
第 68 回 SGRA フォーラム
「夢・希望・嘘-メディアとジェンダー・セクシュアリティの関係性を探る」
アンケート結果

アンケート回答者：21 名

アンケート方法：ウェビナー退出時のウェブ入力（Zoom Webinar アンケート機能を利用）

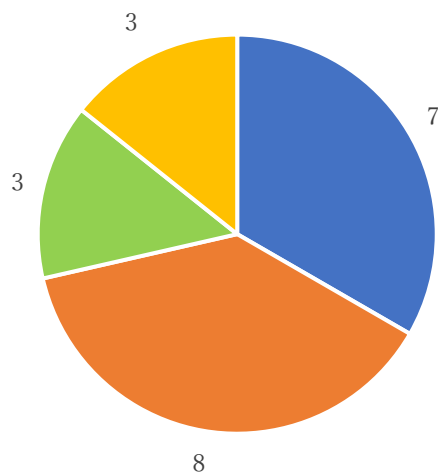


本日のフォーラムに参加したいと思った理由を
お聞かせください。（複数選択可）

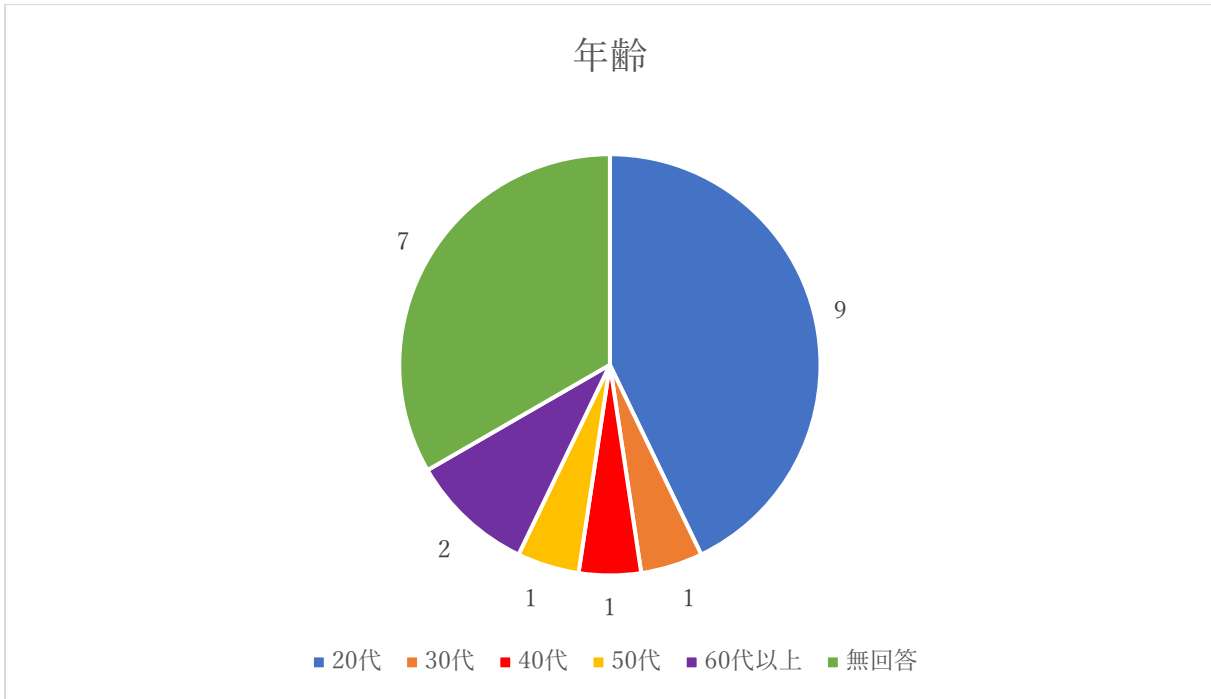


- テーマに関心があるから
- その他
- SGRAフォーラムのシリーズが好きだから
- 講師に興味があるから
- 仕事に関する内容だったから

性別（自由記入）



- 無回答
- 女性（内1名が明確に「シス女性」と記入）
- FtXとnonbinary
- 男性



フォーラムについてのコメント・感想、主催者に伝えたいこと等ご自由にお書きください。

定期的にかような場は必要だと感じた。自分の興味関心に関わらず、新たな発見も見つかり非常に勉強になった。日本や中国、韓国、三カ国についてのジェンダー視点から学ぶことができ、こういった場に積極的に今後も参加していきたいと思った。お時間を作ってくださりありがとうございました。

フェミニズムが少しは知られるようになってきたのを喜ぶ一方で、多くの人には（シスヘテロの）男対女の戦いのようにとらえられていることにモヤモヤしていたので、トランスインクルーシブなフェミニズムについて言及があってよかったです。

大変興味深いお話ばかり、違った視点からのコメントは大変学びになります、ありがとうございます。

現代社会のジェンダー構造、セクシャル・マイノリティ、#MeToo 運動など、世界には様々なジェンダー問題が存在しているということを改めて知ることができとても勉強になりました。

とても興味深い内容でした！開催して下さりありがとうございました。

最後の話し合いはとても面白かったです。

フォーラム全体についての感想：都合により途中までの参加になってしまいましたが、とても面白かったです。

基調講演「今の時代、白馬に乗った王子様って必要？」についての感想：バachelorのオリジナル版はアメリカで20年ほど前にスタートしたとのことでしたが、女性の階級上昇と男性が素敵なパートナーを得ることがセットになったストーリー構造は、同じく20年程前に連載された日本の漫画『花より男子』などにも見られるものだと感じました。また、バachelorが示すのは「頑張れば、貧困や不安定な立場を脱出できるという新しいフェアリーテイル」だと表現されていましたが、「頑張れば」というところがポイントだと思いました。ガラスの靴を落とすといった偶発的なきっかけや幸運に支えられた物語はもはや支持されない中で、バachelorに出演する女性は結婚による経済的安定やメディア露出によるキャリアアップという狙いは隠すべきという規範意識にもさらされます。それぞれの生存戦略を持ちつつまるで幸運によって幸せになるかのように自己演出しなければならず、努力を隠すための努力まで要求されているのだと感じました。

発表①「夢を売り、夢を描く：ジェンダー視点からみる宝塚歌劇団の経営戦略と関西圏のファン文化」についての感想：都市空間の中の「夢の世界」という着眼点が非常に興味深いものだと感じました。独特の「夢の世界」は男性中心の企業と女性コミュニティのせめぎ合いのなかにあるという点も面白かったです。ファン文化については、自分の実感とは少し異なった点もありました。関東圏のファンは個人志向・関西圏のファンはコミュニティ志向という特徴があげられていましたが、東京宝塚劇場のほうが座席数の少なさやアクセスの良さからチケットが取りづらいため、ファンクラブへの入会率が高かったり同じ趣味の友人関係を重視する人が多いものだと思っていました。確かに、宝塚大劇場付近は東京宝塚劇場よりもファンクラブの人々の交流が見受けられることが多いのですが、同時にファンクラブや友人関係の都合とは関係なく個人で観劇を楽しむ人も多い印象があります。

チャットやパネリストの議論など、インターアクティブな試みは評価できる。

興味深いテーマ、講演者、内容でした。少しアジアにフォーカスされていた様にも思ったので、その部分がより明確にされても良かったかもしれません。また、メディアだけでなく、政治・経済における実際の動きや、文化面との関わりが、どの様に整理されているのか、もやもやしました。

これから、どのようなイベントを期待していますか？テーマや講師の名前など、ご自由に記入してください。

セクシャル・マイノリティやLGBT教育

また若手研究者による発表を聴きたいです。

今回のような、ポップカルチャーやメディアと絡めたジェンダーやセクシャリティの話題。

現代文学と社会学・哲学の繋がりに興味があります。

ジェンダー／恋愛と生殖／宝塚歌劇（少女歌劇）

コロナ禍における社会の変化、現代文学の可能性など